

新潟県教育委員会では、いじめ対策の再構築を図り、「学校の組織力の強化」や「教員の意識改革」などの視点で各種取組を実施しています。その一環として、本校及び川岸分校のいじめ対策の現状について、今年度も「いじめ対策総点検」が実施されました。内容及び指導内容は、以下のとおりです。

1 日 時 令和6年10月24日（木） 午前10時から11時40分まで

2 場 所 県立江南高等特別支援学校 校長室

3 参会者	県教育庁生徒指導課	真貝 副参事
	県教育庁義務教育課	南 副参事
	県立江南高等特別支援学校	校長、教頭、いじめ対策推進教員
	県立江南特別支援学校川岸分校	教頭、いじめ対策推進教員

4 内 容 （1）学校見学、授業参観
（2）書類点検、取組説明

5 指導内容

○ 組織的対応について

いじめ事案を把握した場合、マニュアルに沿って速やかに行っていることはとてもよい。引き続き、スピード感がある対応に努めてほしい。

○ 記録作成について

各種報告書の作成に関して、一部の職員だけが負担することのないよう、分担を工夫しながら進めてほしい。また、個人情報に該当するため、これまで同様、適切な管理に留意する。

○ 学校いじめ防止基本方針について

生徒指導提要の改訂に伴い、基本方針を一部更新し、速やかにホームページにアップしていることはとてもよい。

○ ゲートキーパー研修や情報モラル研修について

自校が取り組んだ伝達講習により、全職員へ情報を共有したことは大切である。特に SNS に関するトラブルは年々急増しており、AI 機能を含めた新しいアプリへの対応も求められる。

○ アンケートや教育相談の実施について

生徒へのアンケートには紙面と ICT による回答方法があり、生徒の実態に応じて使い分けてよい。また、年間計画等にアンケートや教育相談の実施時期が示していると、生徒や保護者は見通しがもちやすいので検討してはどうか。

○ スクールカウンセラーの活用について

スクールカウンセラーは校内いじめ対策組織の一員であり、記録をスクールカウンセラーへ回覧し、情報を共有できていることはとてもよい。